

# テープ状LEDを使用した小ギクの開花抑制法

福島県農業総合センター 作物園芸部花き科

## 1 部門名

花き一キクー生育調節

## 2 担当者

鈴木安和・鈴木宏和

## 3 要旨

白熱電球の製造中止の動きが進む中、新たな開花調節技術の開発が必要となっている。そこで、福島県内の企業が作成したテープ状のLEDを使用して、花芽分化前のキクへの赤色光照射及び照射方法による開花抑制効果を明らかにした。

- (1) テープ状LEDを使用した生育初期の赤色光照射は、開花抑制効果がある(図1)。
- (2) 照射方法は、上部及び下部方向からの照射で開花抑制効果がある。なお、上部からの照射がより効果が高い(図1、2)。
- (3) 2条植え栽培ではテープ状LEDを1畝あたり1本設置して電照を行った。

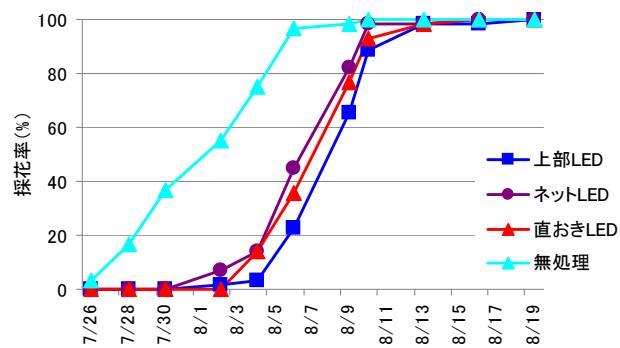


図1 LEDの照射方法の違いによる採花率の推移(2010年 品種:小鳩)  
注)電照期間:5/21~6/20 0:00~4:00の4時間  
使用LED:防水テープ状LED「いちごのひかり」波長640nm  
光合成有効光量子密度 0.43  $\mu\text{mol}/\text{m}^2\text{s}$ (距離30cm)



図2 LED電照風景(左より「上部LED」「ネットLED」「直おきLED」 2010年6月17日)

注)設置間隔 小ギク2株当たり1LED電球とし、畝ごとに設置した。

設置位置 「上部LED」は生長点より15~30cmの高さ、「ネットLED」はフラワーネット上、「直おきLED」は地面に直接設置。LED照射方向はキクの生長点に向けて行った。

## 4 主な参考文献・資料

- (1) 平成22年度センター試験成績概要